

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



「卒業おめでとう！」とお母さんから笑顔で祝福される卒業生たち。

卒業のお祝いに出席された父母、お世話になった先生たち、多くの在校生に祝福され、学び舎を後にされた21人の中春別小学校の卒業生。友達との別れの涙、お世話になった感謝の気持ちを胸に、これから新しい出会いが始まる4月の入学式へと巣立っていきました。


JA中春別

4月号

2015 Vol. 447



父の基盤を引継ぎ、 ゆとりある家族経営を

中春別地区・ファーム藤倉後継者 藤倉 香津靖さん(30歳)

ファーム藤倉の歴史

今月は、中春別地区の藤倉牧場の後継者である、藤倉香津靖氏に取材を受けていただきました。

昭和27年に香津靖さんの祖父・弘さんは、炭作りやビート・じゃがいも栽培を中心とした畑作農家として中春別地区で営農を開始しま

した。入植したばかりの頃は、まだ乳牛の飼育は行っておらず、入植から4年目の昭和32年に初めの乳牛を1頭導入し、畑作と酪農の兼業農家として始めたのが酪農に携わるきっかけとなりました。

それから、順調に乳牛の頭数も増え、昭和45年に酪農一本で経営して行くためにキング式牛舎を建設し、現在の藤倉牧場の基盤となる経営がスタートし、昭和59年5月に香津靖さんが誕生しました。

香津靖さんの誕生から3年後の平成元年に祖父弘さんから父紀夫さんに経営のバトンが渡され、藤倉牧場の第二章が始まりました。経営も順調に起動に乗った6年後の平成6年に藤倉牧場に大きな事件が起こりました。

その年の10月、今までに経験したことのない、マグニチュード8・2の東方沖地震が発生し大きな被害を及ぼしました。藤倉牧場も地震による被害が大きく、弘さんより引き継いだキング式の牛舎が全壊し、集荷に繋がる国道などの道路も原型が分らないほどに破壊され、ライフラインである水道が寸断されるなどの、甚大な被害を及ぼしました。

<藤倉香津靖プロフィール>
1984年5月2日藤倉牧場の男4人兄弟の三男として生まれました。
2006年農業大学校を卒業後、家業の藤倉牧場3代目として実家に戻り現在に至る。
趣味はスノーモービル。





ミルカーを取付ける作業中の香津靖さん

ラー施設が完成し、大きな節目の年となりました。その頃、香津靖さんは北海道立農業大学の進学に向けて、別海高等学校で勉強に励み、平成15年の春、北海道立農業大学校に進学することとなりました。

在学中は飼養管理や経営管理技術を学び、平成17年に、藤倉牧場に帰ってきた香津靖さんでしたが、始めのうちは戸惑うことも多々ありましたが、毎日仕事をしていたうちに仕事を覚え、少しずつ自分の将来のビジョンを考えるようになりました。

その頃、農協の窓口で働いていた亜理沙さんと出会い、平成18年香津靖さん22歳の時に亜理沙さんと結婚しました。翌年の平成19年に長女の梨緒(リオ)さん誕生、平成21年次女の苺香(マイカ)さん誕生、そして待望の男の子が平成25年長男の誠亜(セイア)さん誕生しました。

酪農家として生きていくきっかけ

香津靖さんに「酪農家として、生きていくと決めたきっかけはいつ頃ですか?」のお聞きすると、4人兄弟の3男だったので、「父さんの跡を継ぐのは兄貴だろうな」と小学生の時から思っ

ていました。でも小さい頃から酪農が好きだったので、「大人になったら酪農の仕事をしているのだろうな」とその時から漠然と思っていました。しかし、高校に入学するころには、2人の兄が社会に出て働くようになり、真剣に就農すること考えたのがきっかけです。

酪農家の面白さ・辛さ

「酪農家として面白いところは、やればやった分、結果として現れるところが面白くて、努力したことがそのまま目に見えてわかるので、やりがいを感じている。辛さについては、特に感じたことがなくて、自分の好きな酪農と言う仕事ができるので、就農してから大変だと思うことがあっても、辛いと思つたことはないかな」と話してくれました。

休日の過ごし方

休日は基本的に家族過ごすことが多く、子供たちと

買い物に出かけたり、冬はスノーモービルで山の中を走りに行ったり、農協青年部の仲間とグループを組んで情報共有や交流を深めている他に、子供達を乗せて畑をドライブしたりと道東の冬をアクティブに過ごしている一面を教えてくださいました。また、基本的に数日休める機会が年間を通して少ないので、休みが取れると年に2回家族旅行に出かけ、その内の1回は齋藤家と一緒に旅行するのが休日の過ごし方です。

これからの目標

これからの目標を香津靖さんに尋ねると、父が築いてきた健康な子牛作りや良質粗飼料作りなどの健康な乳牛作りの基盤を大切に守って行き、もう少し頭数を増やし、作業性をよくして、ゆとりある家族経営をしていきたい」と言っています。

今回、快く取材を受けていただいた藤倉香津靖さんありがとうございました。



子供たちをスノーモービルに乗せ一緒に楽しむ香津靖さん





国会決議を順守し、北海道の産業と北海道民の暮らしを守ることを
必ず実現するよう強く要請

TPPから 命と暮らしを守ろう！

北海道緊急大集会

全道から集会に参加、TPP反対を訴える

札幌市民ホール・大ホールにてTPPについての基調講演とパネルディスカッション・集会決議が3月26日(木)開催されました。当JAから7人が参加し全道各地の農協関係、北海道医師会や消費者協会、T

PP問題を考える市民の会、報道陣等の約1500人が参加しました。

講演の際、「TPPの問題は農業だけでなく医療など多方面に関わる問題であり、北海道だけでなく、日本全体の問題である」という孫崎さんの講演を聞き、TPPがどのようなものかもっと多くの人に広く知られる必要があると感じ、農業に関わる人たちだけでなく日本国民ひとり一人が意識しなければならぬ問題だということを知ることができました。そして、こうした集会を通して学んだことを参加した私たちが広めていかなければならないと思えました。集会決議では、「私たちは、北海道民への説明がなく、かつ道民合意のない



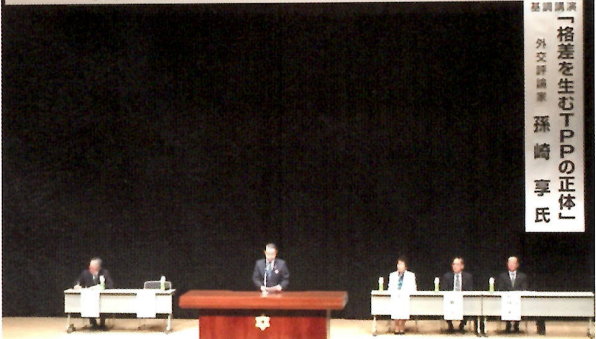
当JAからも組合長を始め7人が参加

交渉内容については、如何なる取決めにしても反対する。この事を十分踏まえ、私たちは、政府に対し北海道の将来に禍根を残さぬよう、交渉に関する情報を開示するとともに、十分な国民的議論を行うこと。衆参両院の農林水産委員会における国会決議を順守し、北海道の産業と北海道民の暮らしを守ることを必ず実現するよう強く要請するとともに、広く北海道民に訴え、北海道民をはじめ、経済団体、一次産業団体、消費者団体、医療団体、行政などオール北海道で、北海道の声を政府に届けよう」と全員が団結し、参加者全員が頭上にプラカードを掲げ「TPP交渉の国会決議を守れ！情報を開示せよ！」と声高々に決意表明が決議されました。

TPPから命と暮らしを守ろう！北海道緊急大集会

北海道の産業を壊し、国会決議を逸脱する合意は許さない！

基調講演「格差を生むTPPの正体」
外交評論家 孫崎 享氏



ほ乳器具は洗えていますか？

出生子牛の下痢症は、その生死を左右する重大な疾病の一つです。
 下痢の原因は、様々考えられます。今回は、その二因として、ほ乳器具の衛生管理と生乳の保管について考えてみましょう。

分かる汚れはありませんでしたが、そのような場合でも、洗浄が不十分な可能性があります。
 そのため、洗浄はミルカーと同様に行う必要があります(図1)。
 ぬるま湯だけで洗っている場合は、耐熱性菌が選択的に残る可能性があります。必ず洗剤を使って洗いましょう。

表1 生菌数の比較

農家	手搾り乳	ほ乳瓶乳
A	0.0	50.0
B	1.5	無限大
C	2.0	70.0

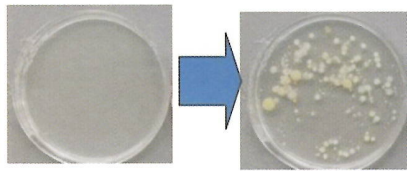


写真1 生菌数の変化(上記A農家事例)

1. ほ乳器具は汚れている！
 普及センターが平成26年に行った調査では、生乳の生菌数がほ乳瓶やほ乳バケツを介して増加している例がありました(表1、写真1)。
 ほ乳器具は、いずれも目でみて

- パイプライン洗浄と同様に洗浄する
(使用後すぐに洗剤を使って洗う
ぬるま湯→アルカリ洗剤→酸性洗剤)
- お湯の温度は40～70℃
(40℃以下では乳脂肪が溶けず、
70℃以上では蛋白凝固が起こる)
- 洗剤の濃度は、ミルカー洗浄時の倍で行う
(0.5～1.2% メーカーにより違うので確認)
- スポンジを使って洗う
(ブラシはほ乳瓶を傷つけ薬剤が飛び散り危険)
- 給与直前の殺菌剤洗浄が効果的
(長時間浸すとゴムが劣化するので注意)



図1 ほ乳器具洗浄時の注意点

手洗い洗浄に特化したほ乳器具の専用洗剤もありますので、各メーカーにお問い合わせ下さい。
2. 洗いやと殺菌でこんなに変わる！
 前述した洗浄方法の改善で、生菌数は大きく減少します(写真2)。
 ほ乳器具に乳石など目に見える汚れがないことを確認の上、洗浄します(写真3)。特に、今回の

写真2 洗浄方法改善による生菌数の変化

ほ乳瓶	生菌数	改善前	改善後
50.0万/ml	1.0万/ml	改善前	改善後
7.4万/ml	0.9万/ml	改善前	改善後

改善点：ほ乳瓶、バケツを洗剤で洗い使用前に殺菌剤ですすく

写真3 汚れのチェック箇所

乳首の裏に、“白いかたまり(乳石)”はないですか？

ほ乳瓶内部に“目で見て分かる汚れ”が残っていませんか？

調査事例では、ほ乳直前に殺菌剤を使ってすぐことが効果的でした。

3. ほ乳用生乳の保管状況
 処理室内で、水を張ったバケツにほ乳用の生乳を入れて、保管している事例があります(写真4)。

写真4 水冷却保存の事例

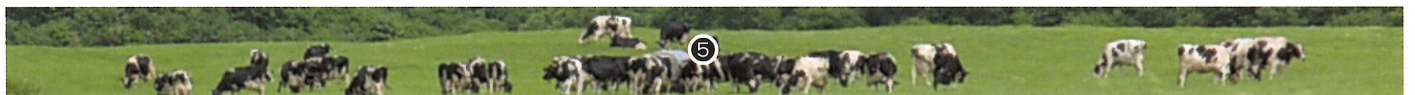
事例1 搾乳8時間後
生菌数 44万/ml
大腸菌群数 9万/ml

事例2 搾乳6時間後
生菌数 45万/ml
大腸菌群数 35万/ml

半日の保存でも生菌数は増えます。可能な限り、搾乳してすぐに飲ませるか、難しい場合には冷蔵保存しましょう。

ほ乳関連器具は、他にも、バケツトミルカー、初乳殺菌装置(パステライザー)等があり、これらの洗浄も同様に重要です。

しかし、子牛の口に最も近いほ乳器具が汚れていては、それ以前の洗浄が台無しになりかねません。まずは、ほ乳器具の汚れ、チェックしてみませんか？



よりよい部活動を目指し、 部員同士の交流の場を提供

農協別農協
女性部
通常総会



挨拶を述べる齋藤道子女性部長

農業者団地センター
ーニング室にて、第41回中
春別農協女性部通常総会が
3月23日開かれました。
開会にあたり齋藤部長より
挨拶があり、続いて来賓の
中春別農業協同組合藤倉副
組合長理事と中春別酪農対



策協議会原内副会長より挨拶をいただきました。
議長には豊原地区の遠藤

美奈子さんと美原地区の
林幸枝さんが指名され、
議事に入りました。

議案第1号から4号まで全てが可決承認されました

議案第1号「平成26年度事業報告並びに収支決算について」、議案第2号「平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」、議案第3号「平成27年度会費の賦課並びに徴収方法について」、議案第4号「役員改選について」が可決承認されました。
平成27年度行事も引き続き自己スキルアップのため各種勉強会・講習会、部員間での交流の場の提供をしていきたいと考えております。



新役員の方皆さん

- 新役員は次のとおりです。
- | | |
|-----|-------|
| 部長 | 齋藤 道子 |
| 副部長 | 佐藤 清美 |
| 副部長 | 馬場 良子 |
| 理事 | 望月 千恵 |
| 理事 | 上神佳代子 |
| 理事 | 南澤 順子 |
| 監事 | 木原 幸恵 |
| 監事 | 関口 美雪 |

女性部に入って
一緒に活動しま
せんか

女性部では加入者を募集しています。同じ酪農業を営む仲間として、交流や意見交換をできる仲間を女性部を通して見つけていただければと思っております。

お花に興味がある方は園芸グループ、お菓子作り、手芸などをしてみたいという方には趣味の会、現役を引退し、仲間たちとゆっくり過ごしたいという方には木の実部会、小さなお子様連れでも気軽に参加していただけるフレッシュユミセス部会があります。
同じ趣味や年代の仲間たちと一緒に活動してみませんか?この他にも1年を通して様々な活動を行うっております。宿泊研修や料理教室など、楽しい催しもたくさんあるので興味のある方は農協女性部事務局(76-2241)までご連絡ください。

各農協から女性部代議員が集い、事業計画を承認

— J A 根室地区女性協議会 第59回通常総会

J A 根室地区女性協議会の第59回通常総会が3月26日に根室農業会館で開催され各農協から女性部代議員ら関係者が出席しました。

総会では議案第一号「平成26年度活動報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「平成27年度活動計画（案）並びに収支予算（案）の設定について」、議案第三号「平成27年度会費の賦課徴収方法（案）について」、議案第四号「役員の変更について」が満場一致にて可決承認されました。



各農協から出席された女性部代議員により議案を審議



また、役員改選は次の通りです。

会長 畠山 友子

副会長 J A 中春別

副会長 長谷川希美

J A けねべつ

副会長 大内 洋子

監事 J A 道東あさひ

監事 齋藤 道子

監事 J A 中春別

監事 藤井直雄美

J A 中標津

海外視察研修参加報告

男女区別のないドイツの農業経営



スライドを使って海外視察研修を報告する長谷川さん

総会終了後は J A 根室地区女性協議会幹部部員研修

経営に入ることも多いことや牛舎が木材で作られており、日本と違い湿度が少ないことから木が腐ってしまわないことなどを説明していただきました。

会が開催され、平成26年度 J A 北海道女性協議会海外視察研修参加報告」を J A けねべつ女性部の長谷川部長より報告していただきました。



折り紙を作成する出席者のみなさん

また、ミラノ国際博覧会で使用する折り紙を作成しました。全国で7万羽以上作成することとなっており、根室地区では40羽を作成しました。



4月27日(月)よりミルク王国の営業を始めます。別海町の牛乳をふんだんに使用したソフトクリームで、当地区の生乳も使用しています。「甘過ぎず、サッパリとした味」子供からお年寄りまで幅広くご好評いただいております。

商品は、ソフトクリーム・アイスクリーム・シェイクなど豊富なメニューを取り揃えており、キャラメル味マスカルポーネ味のソフトクリーム数種類を週替わりで販売いたしますのでご賞味ください。

- 営業期間 4月27日(月)～9月下旬
- 営業時間 10時～17時まで

※毎週木曜日は機械洗浄のため、通常営業時間より1時間早く閉店となります。また、悪天候も閉店とさせていただきますのでご了承願います。

趣味の会 プリザーブドフラワーのアレンジメント作り

素敵な作品ができあがりしました

2月26日に趣味の会でプリザーブドフラワーのアレンジメント作りが開催されました。
 あらかじめピアノの容器にピッタリのサイズに土台を切つていただいていたため、スムーズなスタートとなりました。
 ピアノの屋根との間に花が納まるように高さを気に



ピアノの型の中に花をいれて作業を進めていきます

ですが、
 サービ
 スをしすぎて屋根が閉まら
 なくなる方もいらつしやい
 ました。以前にもプリザー
 ブドフラワーのアレンジメ



ント作りは開
 催されましたが、
 以前とはまた
 違った手順の
 ため新鮮な気
 持ちで楽しんで
 いた様子で
 した。途中「セ
 ンスがないから
 な」などの言
 葉が聞こえて
 きたりもしま
 したが、無事全員が
 作業を終わらせるこ
 とができました。



完成した作品を前に充実した時間を楽しく過ごしました

労働力補完事業による人員確保のため 各学校を訪問、仕事内容を説明

J A 中春別酪農ヘルパー利用
組合（高田嘉秋会長）、中春別営
農サポート協議会（南澤斎会長）
では、更なる人員確保のため、
2月25～27日にかけて恵庭市、
東京都、茨城県にかけて学校訪

問を行いました。

今回の学校訪問では、訪問し
たことのある4校の専門学校へ
足を運び、ヘルパー利用組合・
サポート協議会の仕事内容を説
明してまいりました。



学校側も熱心
に話を聞いてい
ただけたと兵に、
今後、開催予定
の学校主催の「就
職説明会」に参加
していただきたいと
の言葉をいた
だきました。今
後は直接学生と
対面する場を設
けることが可能
となり、更なる
労働力補完への
足掛かりとなれ
ばと考えます。
また、今回の訪
問では、酪農に
興味のある生徒
との対面も行って
きており、酪



農現場で実習を行いたいとのこ
とで、3月10～23日に4人の生徒、
3月11～31日に1人の生徒が当
地区内で酪農体験実習を行いま
した。
今後、学校訪問を通じ、各学
校へ足を運び更なる人員確保に
努めて参りたいと考えております。

学校訪問先

- ① 北海道エコ動物自然専門学
校
- ② 東京動物専門学校
- ③ 東京コミュニケーション
アート専門学校
- ④ 鯉淵学園農業栄養専門学校



税務署

平成26年分の所得税などの 確定申告の振替納付日

所得税および復興特別所得税	平成27年4月20日(月)
個人事業者の 消費税及び地方消費税	平成27年4月23日(木)

※振替納付日の前日までに預貯金残高の確認をお願いします。

期限内に納付できなかった場合は

期限内に納付できなかった場合や、振替口座の残高不足などで振替できなかった場合には、法定納期限の翌日から納付の日まで延滞税がかかります。

この場合、金融機関、または所轄の税務署の納税窓口で本税と延滞税を併せて納付していただくことになります。

※納付書は、税務署または所轄の税務署管内の金融機関に用意しています。
また、金融機関に納付書がない場合には、所轄の税務署にご連絡ください。

税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp



中春別 中学校卒業式



巣立ち行く一人ひとりの今後の活躍に期待

3月12日(木)、中春別中学校男子11人、女子10人の3年生21人が卒業されました。

卒業おめでとうございます

卒業生にとって中学校生活最後の校歌が、校内中に響き渡り始まった卒業式。

在校生や父母が見守るなか、卒業生は緊張した面持ちで入場し、校歌斉唱などの後、校長先生より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。壇上へ上がる卒業生の中には、思い出がこみ上げて涙を流す卒業生が見受けられました。

在校生送辞では年間行事、部活動の思い出、見本となった3年生から教わったことを話した後、下級生を引っ張ってくれた3年生に感謝の気持ちを述べられました。また、卒業生の答辞では、

自分達についてきてくれた下級生へのお礼、3年間お世話になった先生方、時には厳しく、そして、時に優しく立派に育ててくれた両親に感謝の気持ちを述べられました。式の最後には卒業生と在校生が向かい合い、在校生は「大切なもの」、卒業生は「あなたへ」を交互にしみじみとした式歌を、泣き出



校長先生としっかり握手を交わす卒業生

したい気持ちを抑えて精一杯斉唱しました。

最後のホームルームでは、生徒一人ずつ教室の前に行き大好きな担任の先生、3年間共に頑張ってきた仲間達に、たくさんの思い出話と感謝でいっぱいのお気持ちを涙しながら、「大人になったら、また、会おうね」と最後の一言を交わしました。

担任の先生からは「3年間君たちの担任でよかったです」と、涙で言葉を詰まらせる場面もありました。

ホームルーム後は部活動で集まり、一緒に汗を流し頑張ってきた在校生たちからたくさんさんのメッセージが込められた色紙をもらい、歌を一緒に歌ったり、胸上げをしてもらったりなど最後のお別れをしました。

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。これ



からたくさんさんの試練が待ち受けていると思いますが、どんなことにも挑戦し諦めないで立ち向かってほしいと願っています。

中春別 小学校卒業式



未来へと飛び立ちました

早くも春の陽気が感じられる3月19日(木)、中春別小学校では、男子8人、女子18人、計26人の卒業生が6年間過ごした学び舎を卒業されました。

中学校生活を楽しみ目標に向かってチャレンジ!



校長先生から卒業証書授与

入場の前から卒業生は6年間過ごしたこの学び舎との別れを惜しみ、体育館の廊下に並ぶ頃には、たくさんの思い出を胸に抱いた生徒達が目に涙を浮かべ入場しました。我が子の成長した姿に涙を浮かべるお母さんや、撮影に熱心なお父さんや在校生に迎えられ、卒業式がスタートしました。

卒業証書授与式では、名前が呼ばれると、緊張した面持ちで校長先生から二人ひとりに卒業証書が渡されました。受け取ったばかりの卒業証書を、席に戻る前に今まで育ててくれた、お父さん、お母さんに生徒から手渡されると、「よく頑張ったね!」「これからもよろしくね」と声をかけると、照



見、次に最上級生としての下級生を引っ張って行く風格を感じさせる力強い送辞が卒業生一人ひとりに贈られました。

式の後はお父さん、お母さん、在校生の大きな拍手に見送られながら学び舎を後にしました。

卒業生のみなさん卒業おめでとうございます。みなさんはこれから中学校へと旅立っていきますが、中学校では、小学校で経験をしないうるいなことが待ち受けていると思います。楽しいことばかりではなく、辛いことも

れくさそうに微笑む子や堪えきれずに涙がこぼれる子で、今回、卒業式が一番の名シーンが多く見られました。次に在校生送辞では、初めての送辞に緊張した面持ちの1年生を大きな声で引っ張っていく5年生の姿を見て、次に

多くあると思います。そんな時は、卒業式で感じた感謝の気持ちを思い出してください。人は、決して一人では生きていきません。一人ひとりが協力し、助け合い、思いやりを持って行動すれば、辛いことも乗り越えることができます。

そして、中学校生活を楽しみながら、常に目標を持つていろいろなことにチャレンジしていきましょう。



【酪農経営科】農業クラブOB会入会式

2月26日(木)、卒業式に先立ち、農業クラブOB会入会式が本校体育館で行われ、今年度の卒業生13人が新たにOB会に加わりました。

入会式では、小椋事務局長より「OB会入会に対するお祝いと別海高校酪農経営科に対する応援団として少しでも協力してください」と激励の言葉をいただきました。新入会員を代表して伊藤雄一君が「これまで農業クラブ行事で支えてもらい感謝しています。これからは卒業する酪農経営科の行事に少しでも力になれるよう頑張ります」と決意を表明しました。暴風雪の影響で実施が不安視された卒業式も3月1日に無事挙行されました。全日制課程6期生も無事に社会に巣立っていきました。在学生共々、今後も地域のみなさまのご指導をよろしくお願ひしたいと思います。



【酪農経営科】花苗生産たけなわ!

毎年ご好評いただいております温室での花苗生産が今年も最盛期を迎えようとしております。昨年の12月よりは種をはじめ、現在はポリポットへの移植作業がたけなわとなっております。これらは町内会や各団体の花壇に飾られると共に各家庭用にも販売します。今年は5月16日(土)に本校温室にて即売会を開催する予定です。是非ご利用くださいますようお願い申し上げます。



【経営面接指導】

2月20日(金)2年目学生の経営面接指導が実施されました。学生は自家の1年間の酪農経営(組合員勘取引や資産台帳の変化・追加など)を経営管理ソフトを用い



経営面接指導の様子

て月毎に入力し、年度末に決算を行い、損益計算書、期末貸借対照表と乳検データを元に、総合的な分析を行い、資料を作成し、面接に臨みました。JA道東あさひ、根釧農業試験場、根室農業改良普及センター、同改良普及センター北根室支所から講師をお招きし、助言・アドバイスを頂きました。学生達は1年間の実績を元に、修了後の酪農にかける思いや夢を語り、講師の提言・アドバイスに感銘を受けていました。

【修了証書授与式挙行】

3月9日(月)に本校において42回修了証書授与式が挙行されました。各地区から日々登校してきた修了生5人が、在校生・教職員・来賓の皆様に見送られ2年間の課程を修了しました。道外出身の修了生代表佐野史生さんは「専攻科で学ぶことで、酪農人生の方向性を見つけることができました」と堂々と答辞をしました。



第42回修了証書授与式

【基礎研究発表会実施】

3月17日(火)に基礎研究活動発表会が実施されました。6人の1年目学生が1年間の自家経営について乳量乳質、繁殖成績、土壌分析の結果などをまとめ発表しました。学生代表の青野さんは、「今回の発表で、改善すべき点が明確になったので、次年度の修了研究や今後の経営に一助にしたい」と感想を述べていました。今後も継続して自家の課題解決学習に取り組み、経営者・酪農従事者としてのスキルアップにつなげてくれればと思います。



基礎研究発表会

【農業特別専攻科とは?】

農業特別専攻科とは、自家で働きながら学校で農業の理論を学ぶ課程です。このような課程は現在全国に5校しかありません。本校では牧草の収穫時期には家で実践を、春・秋・冬は学校に通学して理論を学びます。また、登校時間は10時45分から14時30分までとなっていますので、毎日朝夕の仕事ができるようにカリキュラムが組まれています。酪農専門科目は土壌・牧草・乳牛飼養・乳牛繁殖・経営等の授業を開講しています。また、農業関係機関の専門家(獣医師・普及指導員など)の講義もあり、地域で起こっている問題や最新の農業情勢を学ぶことができます。2年目学生には海外酪農研修(選択授業・ニュージーランド)があり、毎年数人の学生が出発しています。この研修では約2カ月間1人1農場で実習を行いますので、酪農に対する幅広い見識を養い、人間性が高まる研修となっています。また、2年目の学生全員には修了研究活動(必修・大学の卒業研究のようなもの)があり、自家の詳細な経営概況やこれからの課題について理解を深め、問題を解決する力を身に付けます。

このように本校専攻科は地域に密着した教育と資格取得を含めた幅広い教育を実践していますので、興味のある方は是非ご来校ください。



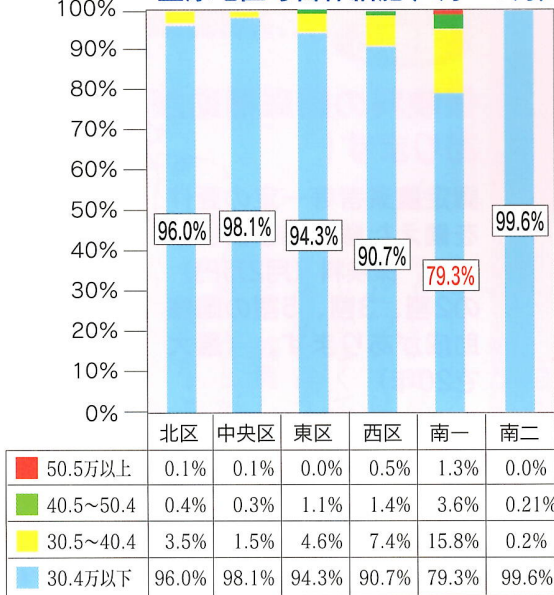
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**13**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**0**件です。
- 異物混入(小動物)、加水、**血乳**による汚染事故… JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**4**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**0**件です。

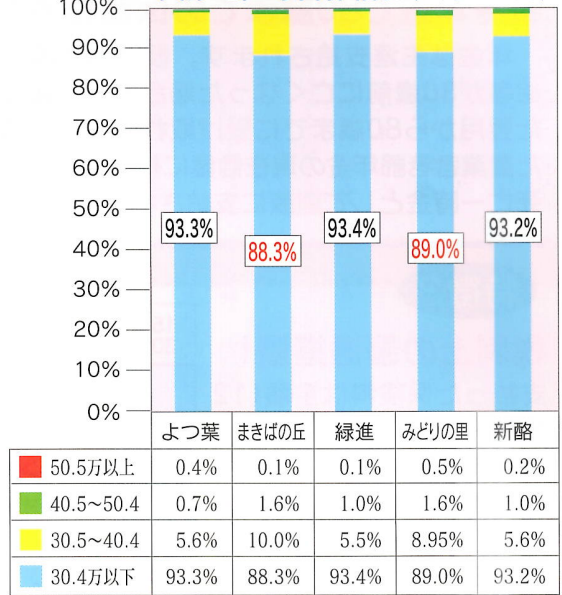
”丈夫な子牛たち”が未来の牧場を支えます。

将来の乳房炎予防のためにも飼育管理のテックを行いましょう。

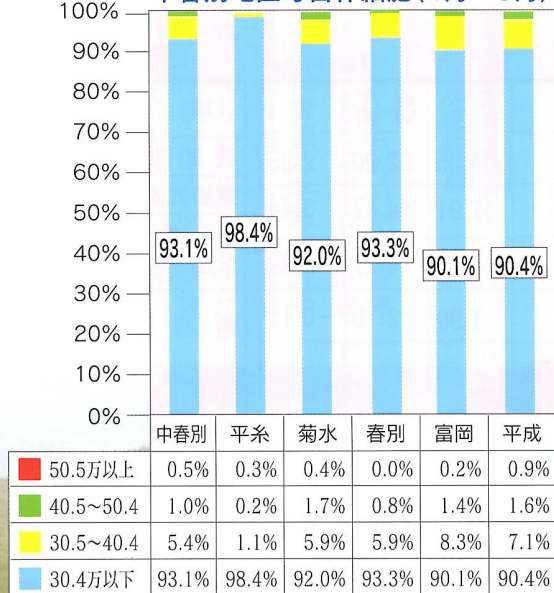
豊原地区毎日々体細胞(4月～3月)



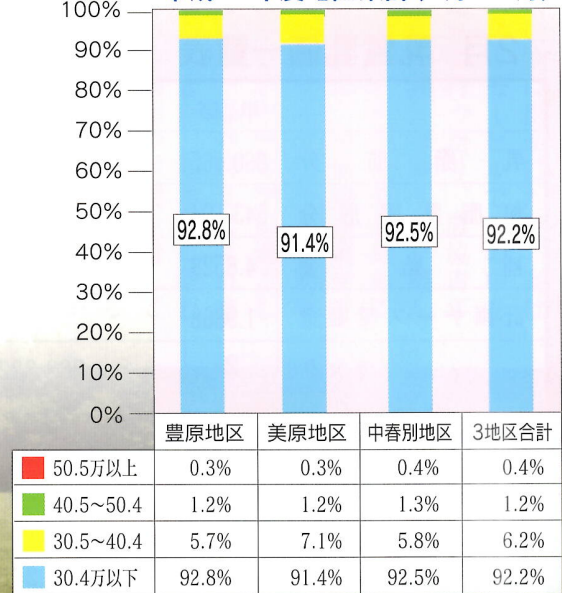
美原地区毎日々体細胞(4月～3月)



中春別地区毎日々体細胞(4月～3月)



平成26年度地区集計(4月～3月)



農業者年金の特徴

特徴1

少子高齢化に強い年金です!

積み立て方式

自分が積み立てた保険料と、その運用益により将来受け取る年金額が決まる積立方式の年金です。



特徴2

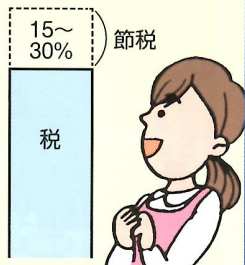
終身年金で80歳までの保証付き!

年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

特徴3

税制上の優遇措置!

支払った保険料は全額(12万円~80万4千円)が社会保険料控除の対象。だから、所得税や住民税の節税につながります! 払った保険料の15%~30%程度の節税につながります。



特徴4

保険料の額は自由に決められます!

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料は月2万円から6万7千円の範囲内で、千円単位で自由に選ぶことが可能です。



特徴5

保険料の国庫補助があります!

認定農業者等一定の要件を備えた意欲ある担い手には、保険料(月2万円)の2割、3割、5割の国庫助成があります。(最大で20年)



詳しいお問い合わせ・ご相談は
JA中春別営農振興課まで

電話(0153)76-2241 番へ

2月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分			860.165		34.35	32.00	2.35
無脂乳固形分			543.194		47.91	44.47	3.44
補給金			4.6529		4.65	4.27	0.38
計画チーズ奨励金			1.9868		1.99	2.10	-0.11
乳質単価	生菌数	ランク1	2	282,322,629.7kg	3.72	3.72	0.00
		ランク2	0	6,056,909.6kg			
		ランク3	-3	79,580.2kg			
	体細胞数	ランク1	2	246,738,779.4kg			
		ランク2	1	22,276,001.9kg			
		ランク3	-2	3,332,001.0kg			
合計					92.62	86.56	6.06

2月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	34円35銭	
無脂乳固形分②	47円91銭	
補給金③	4円65銭	
チーズ奨励金④	1円99銭	
脂肪率	全道	3.99%
	農協	4.06%
無脂固形分率	全道	8.82%
	農協	8.77%
成分乳価	全道	88円90銭
①+②+③+④=⑤	農協	89円09銭
乳質乳価⑥	全道	3円72銭
	農協	3円81銭
乳代合計	全道	92円62銭
	農協	92円90銭
⑤+⑥	差異	28銭

議案

1. 平成27年度役員と組合の取引基準について
2. 固定資産の取得について
3. 外部出資の増口について
4. 規約の一部改正について
5. 平成27年度貸付金利率の最高限度額について
6. (有)別海町酪農研修牧場への資金貸付について
7. 大口信用供与等規制の見直しに伴う信用事業規程の一部改正について
8. 平成27年度信用供与等の限度額設定について
9. 平成27年度営農年度クミカン暫定取引について
10. 平成27年度営農年度経営改善促進支援資金の貸付について
11. 営農貯金特例流動について
12. 組合員に係る一般証書貸付について
13. 平成27年度良質乳用牛確保維持対策(案)及び平成27年度育成牛維持確保対策(案)の実施について
14. 生乳生産維持向上乳牛導入支援事業(案)について
15. 畜産収益力強化緊急支援リース事業(1/2補助付きリース)の実施について
16. 平成27年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
17. 平成27年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る事業計画について
18. 平成27年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る事業計画について
19. リース契約について
20. 特定疾病感染補償互助会規程について
21. 平成27年度職員給与表について
22. 平成26年度期末賞与の支給について
23. 平成27年度職員給与の定期昇給について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 平成26年度12月末定期監査報告書について
3. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
4. 平成26年度女性部との意見交換の顛末について
5. 平成27年度理事報酬額の諮問に対する答申について
6. 平成26年度2月末営農生産関連実績について
7. 暴風・暴風雪に伴う農業関係被害状況について
8. 平成26年度草地畜産基盤整備事業(草地整備型)道営草地整備事業に係る自己負担金の精算について
9. 平成26年度草地生産性向上対策事業(農協糞尿利活用草地整備事業)に係る自己負担金の精算について
10. ホクレン緊急搾乳牛増頭対策事業の実績について
11. 平成27年度(前期)JA中春別選定種雄牛について

退職のご挨拶

小湊 良昭

日一にちと春めく季節となり、皆様方には益々ご清祥のことと存じます。

さて、私こと、この度3月31日付で定年退職となりました。昭和55年7月根釧PF中春別農協に採用以来34年8カ月の間、各部門での仕事をさせて頂きました。

組合員の皆様を始め、役職員の方々には多大なご理解とご協力に支えられながら、この日を迎えられることに感謝をいたしております。

今後は、再雇用として引き続き務めさせていただきますこととなりまして、変わらぬご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

懐かしきあの頃…… そして今。



▼懐かしい当時の母屋とサイロ風景

▲10頭から15頭の牛が牛舎の中で繋がれて飼育されていました



今月は、牛舎に注目したいと思います。現在では、フリーストール牛舎や100頭の繋ぎ牛舎など建物も大規模になり、牛の頭数や1頭当たりの年間乳量も昔から見ると、5倍から10倍以上に頭数を飼育するまでになりました。

しかし、60年前までは牛舎の中には10頭から15頭の牛が飼育され、毎日の搾乳は手搾りで、冬の寒い朝の搾乳は手がかじかんで指の関節がビリビリと痛くて手に力が入らない時も多く、今、考えると当時の搾乳作業は修行のようで、現在のミルクカーが導入されたときは、画期的で驚いたのはもちろんのこと、それ以上に嬉しかったと当時のことを教えてくれました。

また、この頃、根釧パイロット事業で入植した当時は、「10頭いれば生活は安泰」とたくさんの入植希望の若者が選考試験を受け、1戸当り14ヘクタールの耕地とジャージー牛が与えられて、就農を開始しました。

しかし、ジャージー牛はオーストラリアからの1カ月の長旅で、当地区に来る頃には、やせ細り、搾っても茶碗一杯程度しか搾れず、苦勞の連続だったと当時のことを教えてくれました。

編集後記

▼今年に入り2月から3月にかけて観測史上最高の積雪を記録するなど、雪による被害が多い年となりました。

「暑さ寒さも彼岸まで」と云われるように、ここ数日、日中の気温もプラスになり、ぼかぼかとした日が続いております。あんなに積もっていた雪も、この暖かさで見た目にも分かるように少なくなっています、陽当たりの良い所では雪の間からフキノトウが芽を出し、春へと季節の変化を感じる時期になりました。

▼さて、今月号は中春別小学校、中春別中学校の卒業式を取材させていただきました。

たくさんの思い出が詰まった学び舎を後に、また一回り大人になった子供たち、お世話になった担任の先生、進学や転校で同じ学校に通えない友達との別れから、卒業証書をもらう頃には子供たちの目には涙が溢れておりました。

4月から新生活がスタートする子供達に、小・中・高で仲間になった友達は大人数になっても続く大切な友達となります。この限られた時間を大切に、新生活をスタートさせてはいかがでしょうか。